

みなとMIO MACH ケンチクさんぽ vol.12

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部
兵庫地域会 地域まちづくり委員会

「みなと元町」らしい街並み

日本建築家協会 近畿支部 兵庫地域会 (JIA兵庫)地域会長の菅原英房です。JIA兵庫では地域まちづくり支援活動として、建築家がみなと元町を散歩して想う事を本誌にて発信しています。東京で育ち社会人になった私は、神戸芸術センターという建物の設計監理で初めて神戸に来ました。1,100席の劇場や300席の音楽ホールなどで構成される神戸芸術センターは、芸術活動で地域に貢献するために賃貸住宅、オフィス、医療施設、スポーツクラブなど事業全体を安定化させる仕組みが採用されました。神戸芸術センター竣工後も、その運営に関わりながら新規案件を進めています。神戸に来た当時は結婚したばかりで、お世話になった方々へのお礼を選ぶためにおしゃれな雰囲気の元町を歩きました。妻は榮町ビルディング1階の小物・洋服屋が大変気に入った様子で休日の度に出かけました。

みなと元町界隈の歴史を学ぶにつれて、空襲、災害、経済不況などによる街並みの消失と復興する力強さ驚かされます。埠頭や造船の街として栄えたみなと元町界隈は、返還された居留地と一体となって金融・ビジネスの中心地に発展し近代西洋建築が建ち並んだと聞きます。それら建築の多くが現在までに失われ、残された数少ない歴史的建築物も社会情勢の変化により困難な状況にあります。旧居留地にて長谷部鋭吉が設計した神戸銀行協会ビルは来年に解体予定で、11階建てオフィスビルに建て替えられるそうです。早朝に各行員が集まって行われた手形交換業務は電子化が予定され、手形交換所としての手数料収入に代わる新たな事業の組み立てが求められています。一方で設備の老朽化、外壁や防水の劣化、耐震化など施設管理コストは所有者に大きな負担である事は言うまでもありません。アイデンティティとして歴史的建築物を活用したいと所有者が望んでも、建て替えや売却を避けることが困難

な現実があります。全国各地の歴史ある銀行協会ビルも同様に取り壊しが懸念されています。

曾禰中條事務所が設計したみなと元町エリアの旧神戸郵船ビルは大変印象的です。20世紀初めに各地で近代西洋化を進めた曾禰達蔵は、街並みに影響を与える公共財的な建築を多数設計しました。第三波止場に面する旧神戸郵政ビルも、海運・造船の街を象徴する建築として街づくりの手本になったと想像します。数年前に所有者が変更されたと聞きますが、将来に引き継ぎたい建築のひとつです。歴史的建築物を維持するには軸となる収益が求められますが、隣接して収益施設を建設し全体的な事業を成立させる手法が取られます。歴史的建築物のブランド力を借りて収益施設の認知を広げ、またスタッフを兼ねるなど運営管理の体制合理化を図る仕組みです。しかしながらオフィスや住宅などストックが供給過剰の現在では、新たに事業床を増やす事で長期的に安定した事業



旧神戸郵船ビル



窓際に並ぶ商品(乙仲)



元町商店街



栄町通り



栄町通り

にはなり得ません。歴史的建築物自身の魅力を信じ、活用のアイデアについて議論を継続して深める必要があります。これまでに実績を重ねてきたJIAの公益活動は、社会の変化に合わせて効果を高めていきます。

中小規模の事務所建築が集積した乙仲通りは、上手に用途変更した店舗が自然発生的に展開する大変興味深い地域です。飾り気のない事務所建築と対照的に、開放的な路面店や上階の横連窓に商品が賑やかに並べられる風景は鮮やかです。栄町通りや海岸通りに面したオフィス・金融街は、企業の撤退・再編が続く一方で高層マンションが建設され居住人口が増加しました。周辺の変化と共に元町商店街でファッション系店舗が減少に転じ、日用品販売店や飲食店が増加して地域を支えているそうです。商店街は統一的なレンガ舗装で美しい雰囲気を継続してい

ますが、店舗が入替わる度に敷きレンガを撤去・敷設し同仕様のレンガを入手するのに苦労していると聞きました。JIA兵庫では防汚性能、防滑性能、耐荷重に優れて既存に馴染むレンガの選定を支援しました。複数の製造者からサンプルの提供を受け、3ヶ月程度の暴露試験を実施しそれぞれの性能を確認しました。愛知県のレンガ工場にて材料成分、成形過程、焼成温度などを確認して製品との比較をレポートとして整理しています。街並みの雰囲気を継続するには、手を入れながら愛着とノウハウを引き継いでいく事が欠かせません。変化を続ける街並みに、JIA兵庫は地域まちづくり支援活動で貢献を継続します。コロナ禍を抜けた後には、みなと元町らしさを活かして賑わいが増すことを期待しています。

街並みについて考えるたびに、福岡県の

博多駅前の変化が頭に浮かびます。博多駅前では高度経済成長期に建設された重厚な雰囲気の旧福岡シティ銀行本店が解体され、周辺を含めてガラス張りの商業・オフィスビルの建設が進められています。新たな商品やサービスを求めて人々が集まり大変な活気ですが、どこか心の拠り所をなくしたような心細い感覚になります。日本各地で街並みが変化し続けています。神戸でも複数の大規模再開発が話題になり期待が膨らみますが、海運・造船の街としての歴史を引き継ぎながら個性ある発展を継続したいものです。



菅原 英房 (すがはら ひでふさ)
公益社団法人 日本建築家協会
近畿支部 兵庫地域会 地域会長/
株式会社 村井敬合同設計 取締役
設計監理部長